

社協だより

2014.7.24

74号

粟石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

命を救うための知恵
～共助の精神！～



も く じ

- ◆平成26年度災害ボランティア講習会 2～3 P
- ◆平成25年度事業報告・収支決算 4～5 P
- ◆平成26年度社協会費報告・
日赤社資報告 6 P
- ◆西山保育園だよりVOL.12 7 P
- ◆まちの福祉 8～9 P
- ◆お知らせ 10 P

7月12日に開催された災害ボランティア講習会にて、チェーンソーを使った実技講習の様子です。詳しくは、2P～3Pをご覧ください。

この社協だよりは、皆様から寄せられた社協会費をあて発行しています。

災害から学ぶ故郷を守る方法!!



～雫石町災害ボランティア講習会～

地震・水害・竜巻・雪害などの自然災害は、今やいつどこで起こりうるか分からないのが現状です。

昨年の夏、私たちの町でも豪雨災害により甚大な被害を受け、その救援活動には全国各地から集結した多くのボランティアの力と専門性の高い技術系ボランティアにより、復旧が進みました。

しかし、その一方で町内全域で災害が発生しなかったこともあり、被災した地域と被災しない地域との温度差があったのも事実です。

今回の講習会では、災害に対する心構えと、いつ起こるか分からない災害を未然に防ぐための基本知識の習得、災害ボランティアとして活動する際に必要な知識と技術向上そして『災害に強いまちづくり・地域づくり』にすることを目的に4回シリーズで開催します。

講習会の様子

7月12日(土) 町総合福祉センターを会場に、日本財団東日本大震災現地支援センター責任者黒澤司氏、矢野瑛子氏、ヤマヤ物産(株)の浜地高征氏を講師に招き、町内外26名が受講されました。

災害とは(講義)

近年の大規模な災害の背景には、環境破壊を要因とした温暖化による台風の巨大化や日本が地震の起きやすい立地条件にあることがあげられるとのことです。また、災害発生時からの72時間は、自助・共助の精神で、お互いに助け合うことが災害時、命を守るために大切であるということを学びました。

水害時の災害ボランティア活動には、自分の体調管理が求められること、活動時にはその現場にあった道具の選択が重要であること、ネット環境を多用した情報の発信が多くのボランティアを集めることに繋がるなどの有効手段について説明いただきました。

富山県のヤマヤ物産(株)の浜地氏から皆ができる災害時のおいしい炊き出しの方法についてご指導いただき、心のこもった暖かい料理が、人の心を落ち着かせることができることを学びました。

命を守るための方法(実技講習)

倒壊した家屋などから人を救助する際に、油圧式のジャッキや車に備え付けてある身近なジャッキが有効な資材となり、雑誌や木材を組み合わせることで、持ち上げる幅が広がることを学びました。

さらに、救援活動に有効な資機材の利便性や使用上の安全確認について説明を聞いたのち、木の伐採についての実践指導が行われ、木の倒れる方向を誘導するための資機材の使い方やチェーンソーを応用した杭・柵の作り方について、実践を通して学ぶことができました。

講習会のまとめとして「昨年の苦い経験を大きな原動力として新たな助け合いの文化・関係を創っていたきたい。」と参加者へメッセージを送り、第1回目の講習会を終えました。

フォトグラフィ



災害について語る講師の黒澤氏と矢野氏!!



真剣に講義を聞く参加者。



作業に役立つ資機材に興味深々!



シャワーにもなる炊き出し釜の説明をする浜地氏!



炊き出しご飯を食べて、ほっと一息!



初めてのチェーンソーにドキドキ!



危険な樹木の伐採をする参加者!!



伐採した枝を運搬! よっこいしょ!



役立つ知恵に感心する受講生。

災害ボランティアについて聞く!!

日本財団東日本大震災

現地支援センター責任者

黒澤 司氏



黒澤氏は、昨年8月9日の雫石町豪雨災害発災時、重機等の技術系ボランティアと共に当町の救援活動にあたりました。ボランティアが作業をしやすい環境を整え、作業の迅速化に協力いただきました。(以下黒澤氏からのコメントを紹介します。)

「私は阪神・淡路大震災のあった神戸の時から、災害救援活動に参加しました。当時現場に入り目にしたのは、大きく傾いたビルや焼けつくされたビル等の凄惨な街の状況でした。その中で一生懸命活動するボランティアの姿に、復興への大きな光を感じました。

災害時の救援活動を行う際には、住民とのコミュニケーションや相手の気持ちに尊重することにもいつも気をつけています。多くの物には、持ち主の思いが残っているものです。作業を円滑に進めることも必要ですが、本人の思いや願いを尊重し少しでも大切なものを手元に戻してあげたい。私自身、そういう気持ちを忘れることなく活動を継続しています。」

今後の日程

第2回目

開催日: 平成26年8月9日(土)

内容:

- ★1年前を検証
- ・豪雨水害を振り返る
- ★講義
- ・過去の水害から学ぶ、水害への備え
- ・災害ボランティア活動について(水害編)

- ・災害ボランティア活動における安全管理
- ★実技講習
- ・使える活動時の資材と活用方法
- ・土嚢袋と高圧洗浄機

第3回目(選択①②のどちらか選択)

選択①: 災害ボランティア実践編

開催日: 平成26年9月13日(土)

内容:

- ★講義
- ・災害ボランティア活動における身近な危険・安全管理(実践編)
- ★実技講習
- ・活動技術を学ぶ

選択②: 災害ボランティア運営編

開催日: 平成26年10月11日(土)

内容:

- ★講義/実習
- ・災害ボランティアセンターの役割
- ・地域の声(要望)を引き出す方法
- ・老若男女「誰もがができる」防災術
- 問い合わせ等
- 雫石町社会福祉協議会
- 担当 澤口・外村



今年の4月から新たな取り組みを始めました。書道教室です。講師は、小学校でも書道の講師経験のある鈴木實先生です。

子どもたちは真剣な眼差しで取り組んでいます。長時間椅子に座っているので、字を覚えるだけではなく、綺麗な姿勢と集中力を身につけることができそうです。

書道教室



書道セットの道具を確認中。墨汁を見て、「しょうゆかな?」と話す姿も見られました。



初めて触れる書道セットに興味津々の子どもたちです。



先生のお手本を真剣な眼差しで見えています!



教わったとおりに筆を持ち、集中して書いています!

平成26年度社会福祉協議会会費結果 報告

平成26年度社協会費の主な利用用途

事業名

地域子育て支援事業
おでかけ援助サービス事業
合同金婚式
一人暮らし老人昼食会
福祉推進員設置事業
ボランティア協力校助成金
第38回雫石町社会福祉大会
第17回めぐりあい事業
(結婚相談事業)
総合相談事業
広報活動事業
援護活動事業

皆様のご協力ありがとうございます。

総額 **3,707,900円**

(平成26年6月30日現在)

74 行政区 ・ 4,639 世帯

平成26年4月から行政区長様を通じて、各世帯に「雫石町社会福祉協議会会費」のお願いをしていただいた結果、総額3,707,900円の会費のご協力をいただきました。これも町民皆様の福祉に対するご理解と社会福祉協議会への期待の現れと感じており、より一層精進して雫石町の福祉の発展に尽力していかねければと感じております。今年度、皆様よりお預かりした社協会費は、新規事業を始めとし、町民皆様のより身近でわかりやすい事業へと活かしてまいりたいと思っております。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

平成26年度日赤社資運動実施結果 報告

平成26年度日赤雫石町分区分
法人社資協力事業所名

(単位:円)

法人名	金額
休暇村岩手 様	10,000
岩手大崎電気(株) 様	10,000
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000
岩井建設(株) 様	10,000
雫石スキー場 様	10,000
(株) 航和 様	10,000
(株) 中村建設 様	10,000
(株) パーツ産業 様	10,000
(株) 菊池工業 様	5,000
手作りアイスクリーム牧舎 松ぼっくり 様	5,000
篠村建設(株) 様	5,000
新岩手農業協同組合雫石中央支所 様	5,000
小岩井農牧(株) 小岩井農場 様	5,000
小岩井乳業(株) 小岩井工場 様	5,000
千葉燃料店(有) 様	5,000
(有) なかゆ食品 様	5,000
ホテル森の風鶯宿 様	5,000
晴山ホンダ販売(有) 様	5,000
(有) 細川新聞店 様	5,000
(有) 木文商店 様	5,000
長栄館 様	3,000
計	143,000

総額 **2,456,900円**

(平成26年6月30日現在)

社資 2,313,900円 (74 行政区・4,632 世帯)
法人 143,000円 (21 企業協力)

5月を赤十字社資募集月間として、行政区長様を通じて、赤十字社資の募集をお願いしましたところ、総額2,456,900円の金額が集まりました。今年度お寄せいただいた社資は、全額日本赤十字社へ6月20日に送金しました。大規模な災害発生時には医療救護班を被災地へ派遣しての巡回診療や救護物資の配付見舞金等、被災者の支援活動に役立てられます。また、身近なところでは、町内で火災等の災害が発生した際に、被災世帯に対し、毛布・日用品セット等の救護物資をお見舞い品として配付しております。今後とも、赤十字活動について、町民皆様のご理解・ご協力をいただきますよう充実した活動に取り組んでまいります。



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

知 合同金婚式開催

～お二人で培ってきた五十年間を私たちがお祝いします。～

★対象夫婦

・雲石町に住所を有し、かつ居住し平成二十六年十二月三十一日の間に婚姻期間が満五十年以上を迎えるご夫婦(昭和三十九年十二月三十一日までの間に婚姻されたご夫婦)で初めて合同金婚式に参加されるご夫婦

★開催日時

・平成二十六年十一月二十二日(土)

午前十一時～午後二時

※ただし、十時より会場にて、順次ご夫婦の写真撮影を行います。

★会場：ホテル森の風鶯宿

★会費：一組 壹万円

★募集組数：三十組(六十名)

★申込み締切

・平成二十六年十月三十一日(金)

★申込み方法

・申込み用紙と結婚時の写真を添えて、雲石町総合福祉センターへお申込み下さい。

★問合せ等 雲石町社会福祉協議会

担当 渡邊・澤口

○昨年度参加した坂本夫婦からのメッセージ



本当に楽しかった。又参加したいけど1回しか参加できないんだよね。

二人で培ってきた50年間を私たちが雲石町社会福祉協議会がお祝いします。

金婚式

開催のご案内

開催日時 平成26年11月22日(土) 午前11時～午後2時
会場 ホテル森の風鶯宿
会費 一組10,000円(税別)
(お一人5,000円)
対象夫婦 雲石町に住所を有し、かつ居住し、平成26年12月31日の間に婚姻期間が満50年以上を迎える夫婦とする。[注]昭和39年(昭和39年12月31日)までに婚姻された方で昨年度不参加のご夫婦(参加申込書)と「結婚式」の写真を添えて、平成26年10月31日(金)までに提出下さい。

申込方法

主催：社会福祉法人雲石町社会福祉協議会
問い合わせ先：〒520-0241 雲石町十和田2番地2 雲石町総合福祉センター内
電話692-2230 FAX691-1140 秘書(渡邊・澤口)

相 総合相談所開催

皆様のあらゆる悩みごとが、少しでも解消できるように、弁護士をはじめ、専門の方をお呼びして相談所を開催します。

★開催日程

8月27日(水) 13時30分～16時

★開催場所

雲石町総合福祉センター

★相談料：無料

★相談内容

- ・相続など法律問題
- ・障がい者に関する問題
- ・権利擁護・消費生活・介護・生活福祉資金・子育て・結婚・ボランティア等に関する相談など

★相談担当

- ・法律問題：弁護士
- ・障がい問題：支援ワーカー
- ・以上2つは予約が必要です。
- ・他、人権擁護員、消費生活相談員、社会福祉士、生活福祉資金担当者、よろず相談員が担当いたします。
- ★その他：秘密は厳守いたします。

知 日常生活自立支援事業

(愛称：あんしんねっと) つながるに?

毎日の暮らしの中には、いろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをし、地域で安心して日常生活が送れるように支援員がサポートします。



支援員 深谷 詩子氏



支援員 吉井 主税氏

★どんなサービスがあるの?

- ・日常的な金銭管理サービス
- ・福祉サービスの利用申込み援助
- ・福祉サービスの利用料などの支払い手続き
- ・書類などの預かりサービス
- ・苦情解決制度の利用サービス
- ★相談は無料です。
- ★相談内容の秘密は厳守します。

★サービスについて、詳しく知りたい方、サービスを利用したい方は、お気軽にお問い合わせください。

☆照会先 雲石町社会福祉協議会 (Tel 692-2230)

報 先進地から学ぶ雲石町に必要な今!!

雲石町民生委員児童委員協議会先進地研修視察

民生委員児童委員協議会(以下民児協)では、民生委員としての資質の向上や見聞を深めることを目的に、毎年、視察研修を実施しています。

今年度は、6月26日～27日の二日間にかけて、青森県黒石市での研修を開催し、昨年当町でも豪雨災害が発生したことから、災害時の民生委員活動の在り方をテーマにし、「黒石市民生委員児童委員協議会(以下黒石市民児協)」へ訪問しました。

黒石市民児協では、見守り活動の強化として、民生委員をサポートする「ほのぼの協力員」を各地区に3名配置しており、要援護者の見守り活動を推進してまいりました。また、昭和50年・52年と黒石市を襲った豪雨災害での経験を活かし、美原町地区では、公民館に食料品や毛布、自家発電を確保し、要援護者が避難できる体制づくりに努めている等、普段から災害時に備えた先駆的な活動が展開されており、その活動は、徐々に市全体にも浸透されているそうです。



黒石市民児協との交流会では、多くの意見が交わされました。

昨年、大きな爪痕を残した雲石町の豪雨災害を単なる体験で終わらせないために、今後民生委員・民児協として何が必要なのかを、見出だす一助となる研修会になりました。

○担当者から

黒石市民児協との研修では多くのことを学ぶことができ、大変有意義なものとなりました。研修で得たものを今後、民生委員児童委員協議会での活動につなげていきたいと思っています。



雲石町民生委員児童委員協議会 担当 熊谷 誠



「ボール送りリレーの様子」
応援席から送られる熱い声援にこたえるように、集中して息の合ったプレーが行われました。

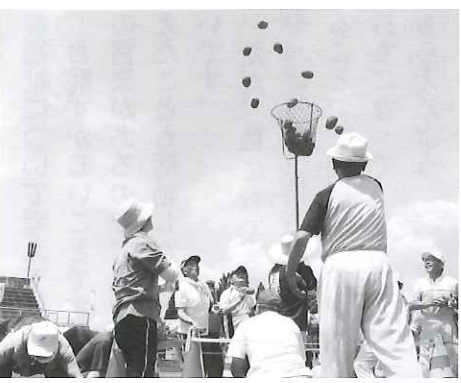
7月8日雲石町営陸上競技場にて、平成26年度雲石町老人スポーツ大会が開催され、約300人が参加しました。

晴れ渡った夏空の下、昨年度優勝御所地区チームの選手宣誓により幕を開けました。参加選手は元氣よく体を動かし、応援団は選手が力を発揮できるように精一杯の声援を送り、会場は終始熱気に溢れていました。

今年度から「ボール運びリレー」に変わり、新たに「玉入れ」が追加され、初めて行う競技にも関わらず各地区とも籠から玉が溢れるほど、熱い接戦を繰り広げました。

優勝「西山地区チーム」代表の歳弘さんのコメント

どの地区も実力に差がない中で優勝できたのは、「楽しむ」をテーマにリラックスして競技に参加できたからだと思っています。



「新競技の玉入れの様子」
投げた玉がどんどん籠の中に吸い込まれていきました。

このひとに聞く！

ふ だんの くろしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



よしむら まさなお
吉村 正直さん (25歳・駅前)

プロフィール

幼少の頃より店を継ぐことを夢見ていた。
大学3年の夏に、卒業したら店を継ぐことを
決意。卒業後資格取得のため調理師専門学校
に進学。現在、親子代々50年以上営んでき
た「いしや食堂」の3代目として日々修行を
行っている。「おいしかった」の一言が一番
の喜び。

趣味はダンスと映像編集。

皆さんの笑顔が明日への原動力

●町の好きなところは

私にとって、挨拶は多く
の方々と繋がりを築くため
に必要な手段です。雫石町
は、誰でも挨拶を返してく
れる明るい街だと思いま
す。

こちらから声をかける
と、子ども達や見守りをし
ている方などから気持ちの
いい挨拶が返ってきます。
誰でも気持ちのいい挨拶
ができる、仲良くなること
ができる明るい雰囲気は雫
石町の好きなところですよ。

●福祉について考えていることは？

お恥ずかしいことですが、普段店
の営業があるので、福祉について考
えたことも活動したこともあまりな
いです。

ただ、私にもできそうなことは、
やっぱり「気持ちのいい挨拶」をす
ることです。相手にすがすがしい気
持ちになって
もらえるよう
に、「明るく
元気な声」で、
町に活気を発
信していきたい
です。



物品寄付

○書庫・辞書・本

上原小児科医院

院長 上原 充郎 様

○車椅子

工藤 スエ 様

○チャイルドシート

匿名希望

○雫石郷土芸能伝承活動細川会

代表 細川 チエ子 様

○新日本プロレスリング株式会社

代表取締役会長 菅林 直樹 様

(福祉活動のために)
22,914円
(福祉活動のために)

○NPOしずくいし

代表 土橋 幸男 様

寄付金

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成26年4月から7月までの間
に、寄せられた寄付について、お
知らせいたします。)

社協新入職員紹介

平成26年5月以降に採用された職
員を紹介します。
みなさんよろしくお願いします。



西山保育園調理員
大久保 淑子さん



西山保育園栄養士
佐々木 優衣さん

編集後記

今号より、社協だよりの表
紙がカラーになり、内容も
変わって、新しく(リニュー
アル)になりました。町民の
皆さんに、気軽に手に取っ
ていただける広報誌にして
いきたいと思えます。(春)

○雫石町社協だより
●平成26年(2014年)7月24日

第74号

発行／雫石町社会福祉協議会
〒020-0541 岩手県雫石町千刈田82番地2

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140
e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp
ホームページ: http://www.shisha.or.jp